

まめに手を洗いたくても、そもそも水道も石けんもないのです。一体どうしたら良いというのでしょうか？

拝啓

初めてお手紙を差し上げます。国境なき医師団の小児科医、加藤寛幸と申します。国境なき医師団の活動には2003年から参加しています。

新型コロナウイルス感染症は、日本でも大きな苦しみと悲しみを引き起こしてしまいました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、皆様とご家族様のご無事を心よりお祈り申し上げます。

本日は国境なき医師団のスタッフを代表して、この危険な感染症の流行拡大をくい止めるために、皆様にできることをお伝えしたく、お手紙を差し上げました。

新型コロナウイルス感染症は、世界中の貧しい地域に住む人びとにも襲いかかっています。今、この危険な感染症のために、彼らの状況がさらに厳しくなっています。一刻の猶予もありません。是非この手紙を、読み進めていただければと存じます。

日本のように衛生状態が良く医療設備が整った国でも、新型コロナウイルス感染症はたくさんの命を奪っています。その感染症が、十分な医療設備がなく、飲み水どころか、手を洗う水もないような地域を襲ったらどんなことになるでしょう？大変な被害が発生するのは容易にご想像いただけると思います。悲しいことに、その恐怖が今まさにおこっているのです。

アフリカのスーダンで医療コーディネーターとして活動している国境なき医師団の看護師、道津美岐子から、次のように切実な報告がありました。「この国には医療機器も、医療スタッフが感染から身を守るための防護具もほとんどありません。難民キャンプや、医療設備の少ない地方で感染が爆発してしまったら……」

ナイジェリアの難民キャンプで暮らすアジアさんは、自分と子どもたちのために「とにかく水が足りない」と訴えます。「ご近所にお願いして飲み水を分けてもらうことさえある」と言います。飲み水にさえ不自由する彼らは、とてもきれいな水で手を洗うことなどできません。



アジア・アダムさん

国境なき医師団は、世界中の貧しい地域で、新型コロナウイルス感染症の流行拡大を抑えるために、そしてウイルスに感染してしまった人びとを治療するために、活動を展開しています。しかし、感染があまりに急速に拡大しているため、十分な対応ができていません。医療スタッフや物資を提供するためには、まだまだ資金が足りません。

そしてこれらの貧しい地域の状況は、今後さらに悪化すると考えられているのです。

右の写真をご覧になってください。ナイジェリアの難民キャンプの様子です。水が不足し、衛生設備も乏しく、人びとが密集して暮らしています。日常で用いる水は、2枚目の写真のようにとても汚いのです。これでは、手をきれいに洗うことなどできません。
世界中には、このような環境で暮らしている人がたくさんいます。
 新型コロナウイルス感染症の脅威は、逃げ場のない彼らを容赦なく襲っています。

国境なき医師団の医師を含めたスタッフは、この感染症の危機を乗り越えるために、チーム一丸となって全力を尽くしています。しかし、劣悪な環境で苦しむ子どもや大人たち、増え続ける患者さんの命を救うためには、もっと多くの資金が必要なのです。

日本の皆様も、この感染症の脅威がどれだけ凄まじいものか、身をもってご認識されたことと存じます。私たちはこの新型コロナウイルスを通して、難民キャンプなどで暮らす人びとの不安と苦しみを共有することになりました。その彼らがいま、さらなる苦境に追い込まれようとしています。どうか、医療が届かない貧しい地域の子どもや大人を救うために、何とぞお力添えをお願いいたします。

命の危機にさらされた、子どもや大人を救うための方法をご紹介します。

- 3,000 円で 体を清潔に保つ衛生キットを 3 つの家族に提供できます。
- 5,000 円で 1 ヶ月分の清潔な水を 210 人に提供できます。
- 10,000 円で 医療用防護具一式を 3 人の医療従事者に提供できます。
- 30,000 円で 屋外医療活動に役立つテントの一部をまかなえます。
- 100,000 円で 酸素供給ユニットの費用の一部をまかなえます。

先ほどご紹介したアジアさんのような人びとは、私たちの子どもや親と同じ、普通の人間です。たまたま貧しい地域に生まれたために、厳しい状況に置かれているのです。

新型コロナウイルス感染症から子どもや大人たちを守るために、できるだけのご寄付をお送りください。よろしくお願いいたします。



敬具

国境なき医師団 小児科医

カ 勝 寛 幸

追伸：あなたと、あなたの大切なご家族を守るために、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための案内を記したカードを同封しました。是非ご活用ください。そして、世界で最も貧しい地域に住む子どもや大人の命を救うために、同封の「寄付申込書」をご利用になって寛大なご寄付をお送りください。